



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
http://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp
令和6年5月31日(金)発行 第3号

ウェルビーイングを目指して

副校長 法月 英里

個別面談への御協力をいただき、誠にありがとうございました。6月は、授業を御参観いただきます。参観日は、6月4日(火)、5日(水)に設けましたが、保護者の方の御都合や、特に御覧になりたい授業などがありましたら、担任にお知らせください。いつでも御参観いただきたいと思います。

さて、面談でお子様の指導及び支援については、担任が二つの個別の資料を御提案しました。一つは「個別指導計画」で、もう一つは「学校生活支援シート」です。学校生活支援シートは、高等部では「個別の移行支援計画」につながり、就労等に関する資料となるものです。「個別指導計画」では、年間で計画した授業における個別の学習目標や指導方法など、およそ半年間の達成目標について、詳細を保護者の方と共有しました。また、「学校生活支援シート」は、現在の関係者と連携(横のつながり)、更には進学先の関係者と連携(縦のつながり)を構築することを目指しています。どちらの計画も、担任の提案に基づいて保護者の方と共に行ってまいります。授業を御参観いただき、お気付きのことがありましたら、是非、連絡帳等で御意見をお寄せいただきたいと思います。児童・生徒のウェルビーイング実現の手立てを関係者が共通に理解して、横と縦の連携を深め、一貫した指導と支援が継続するように努めてまいります。

交通安全教室について

生活指導部主任 梅景 靖之

5月10日(金)から17日(金)の期間に各学部で今年度も交通安全教室を実施しました。小学部では府中警察署の皆様から交通ルールや信号のない交差点での危険について、中学部では京王バスによるバスの乗り方やバスの運転席からの見えない場所などについて学びました。また、高等部では小田急バス班と自転車シミュレータ班に分かれて、体験を中心とした交通安全教室を実施しました。

昨年度に引き続き取り組んだ自転車シミュレータの安全教室では、実際の交通状況を再現し、運転時に起こりうる危険を体験することで、危険予測に対する意識を高めることができました。

児童・生徒は真剣に自分の身を守る学習に取り組み、授業の最後には信号機やバスの前で記念撮影を行い、学習の中での楽しい思い出にもなりました。

学校では引き続き、児童・生徒が安全に過ごせるよう指導してまいりますので、御家庭においても御指導をお願いいたします。

来月はセーフティ教室を予定しております。今後も生活指導部の教育活動に御理解と御協力をお願いいたします。

自転車安全利用五則
～知ってますか? 自転車利用のルールとマナー～

1. 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
3. 夜間はライトを点灯
4. 飲酒運転は禁止
5. ヘルメットを着用

TOKYO SAFETY ACTION
https://www.safetyaction.tokyo.jp

東京都自転車安全学習アプリ
「輪トシ(りんとし)」

自転車の事故事例やルール・マナーの学習に加え、発進や停止、障害物を避けるなどの自転車走行の体験学習ができます。

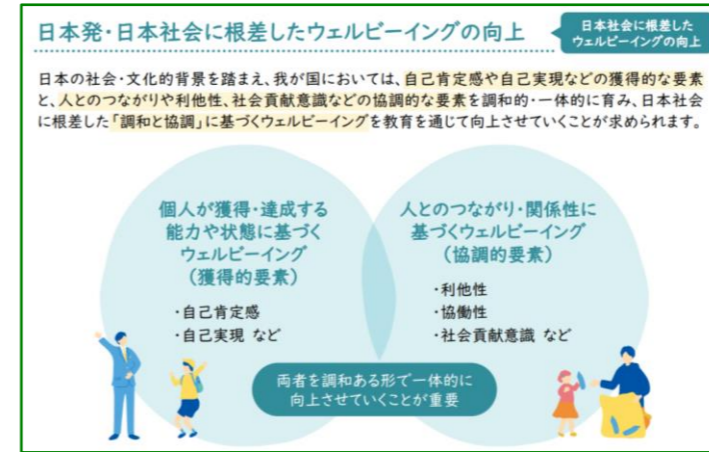
QRコード (iOS / Android)

ぜひ、お試しください!

ウェルビーイングを目指したカリキュラム・マネジメント

研究研修部主任 田中 美成
教務部副主任 松島 宏樹

「ウェルビーイング」「カリキュラム・マネジメント」・・・日常的には、あまり聞きなれない言葉かもしれませんが、これが府中けやきの森学園の今後3年間の研究テーマです。



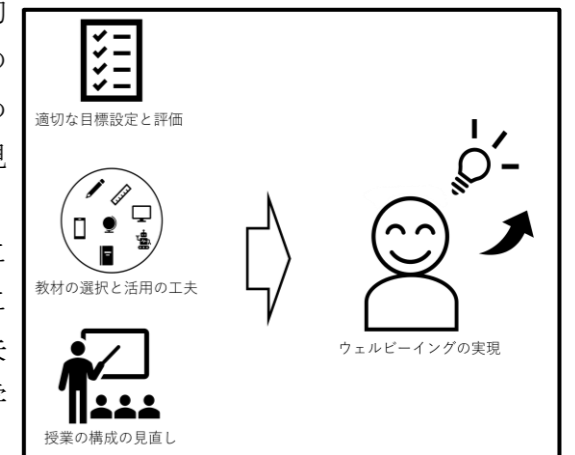
教育振興基本計画パンフレットより(文部科学省 令和5年)

左図は、文部科学省から昨年度出された「教育振興基本計画」の中で示されている、「日本発・日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を説明するものです。ウェルビーイングとは、個人の今の幸せや豊かさだけを考えるものではなく、みんなの幸せ、未来の幸せも考えるものと言えます。学校教育の中でも、この「自分とみんなの、今から未来への幸せ」を考えて行動できる子どもたちを育てていくことが求められています。府中けやきの森学園も、そういう学校を目指してまいります。

一方、カリキュラムとは学校で教える教育内容や時間の適切な配分のことです。カリキュラムの改善をとおして教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」が学校に求められています。児童・生徒一人一人のウェルビーイングの実現に向けて、本校全教員で授業改善に取り組んでまいります。

児童・生徒が授業でできるようになったことを教員が確実に評価して、自分らしく学べる課題設定を行います。そのために数ある教材・教具の中から効果的なものを選択し、活用の工夫を行います。また、時間割や授業構成など学び方についても学習集団に合わせて見直しを行います。

取組内容は今後の学校だよりにて紹介してまいります。



府中けやきの森学園ができること ～堆肥プロジェクト～

主幹教諭 吉田 久明

堆肥プロジェクトでは、野菜くずを微生物の働きにより、健康な土へと変え、府中けやきの森学園の栽培学習の中で育てる花や野菜の生育に生かす「循環型」の仕組みを作っています。

給食を作る際に、野菜の皮などがどうしても廃棄物として出てしまう…。何とかしてリサイクルできないかと悩み、今年度から本格的に取り組んだ「堆肥プロジェクト」。学校を挙げて取り組んでいきます。

これから毎月、学校だよりで堆肥を作っている様子や、堆肥を使った花や野菜の生育状況、SDGsについて学ぶ児童・生徒の様子を紹介します。



A部門小学部（低学年）の教育活動について

低学年副主任 片山 由宇子

20名の1年生を迎えたA部門小学部では、5月1日に「1年生を迎える会」を行いました。

1年生は2～6年生の前で一人ずつ自己紹介をしました。好きな物を、教師と一緒に写真カードなどで発表することができました。2・3年生は「おどろんようび」の歌に合わせてダンスをしたり、制作した曜日カードをめくったりして発表をしました。代表の児童が始めや終わりの言葉を言ったり、プレゼントを渡したりするなど、役割を担って活動することもできました。各学年で練習を重ねてきたことを、児童たちは本番で自信をもって行うこともできました。初めは少し緊張した表情だった1年生も、2・3年生の姿にリードされ、笑顔になったり身体を動かしたりしてみんなで一緒に楽しむことができ、温かい会になりました。

集団の中で「できた」「よかった」という経験が、児童の大きな自信に、そして「やってみよう」という意欲となり、充実感を高めながら成長していくことに繋がると考えます。



A部門小学部（高学年）の教育活動について

副学部主任 齋藤 健夫

高学年は、新しく4年生を13名迎えました。5、6年生のリードのもと、スムーズに学習を深めています。Aグループは、5月1日（水）に行われた「新入生を迎える会」で、司会や歓迎の言葉などを担当し、緊張しながらも堂々と役割を果たし、頼もしい姿を見せてくれました。

Bグループは、「国語・算数」で「自己紹介」を行い、学習の過程で自己理解を深めるとともに、相手に自分のことを伝え理解してもらう大切さを学びました。

Cグループは、「国語・算数」で「選択する」学習を行いました。「観覧車」の詩のイメージを膨らませた授業の中で風を感じたり、ゆったりとした音楽を聴いたり、鮮やかな花や果物などを見ることで、児童の意欲を高め、自分の好みの物を選択することができました。自分の好みの物があること、それを選んでいけることは、これからの人生を豊かにしていくための基盤になると考えます。これからも児童の意欲を高める指導を充実させていきたいと思えます。



問合せ

御連絡は、下記までお願いいたします。

◇平日（午前8時30分から午後6時まで）042-367-2511（学校の代表番号）